

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 1 年 9 月 29 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100348		
法人名	株式会社 ニックス		
事業所名	グループホーム 花咲楼		
所在地	広島市東区尾長東2-6-34		
自己評価作成日	令和1年8月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100348-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和1年9月25日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

- ①ご利用者様の誕生日には、職員により手作りケーキでお祝いしている。
- ②ご利用者様の日常の行動、行事等での様子を写真に撮りご家族様にお渡しして喜んで頂いている。
- ③運営推進会議では、ご家族様がリラックスされる様、お茶を飲みながら開催している。
- ④毎日午後よりレクリエーションを行い、作品等は壁に貼って楽しんで頂いている。
- ⑤地域で行われている町内会には参加し交流を深めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

運営理念「相手本位の心」を管理者、職員が常に意識して、利用者を第一に考え周知し、好きな事を職員と一緒にやる事で楽しみ、意欲に繋げている。職員も笑顔で明るく話やすく、家族からの意見が出やすくなっている。研修体制も整っていて、職員の方から参加したい希望があり、職場全体のスキルアップに繋がっている。建物の横には畑もあり、春夏秋冬と四季折々の野菜が植えられ、芋づるの佃煮など昔を懐かしむ献立が、食卓の一品に添えられる事もある。

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	事業所の理念「相手本位の心」に基づき、ご利用者様には尊敬を持って受容と寛容の心で介護に従事している。	法人運営理念の下に、事業所の運営方針を毎年、職員会議で設定している。今年度は「事業所も個人もワンランクアップ明るく笑顔で利用者様の立場に立った介護を提供します」を基に、個人目標を立て、半年ごとに振り返りを行う事でスキルアップに繋げサービスの向上に役立っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	行事がある際は事前に町内会で報告し新聞にチラシを入れ参加を促している。地域の保育園児との交流も年2回は実施し近隣の方達とも、ご利用者様と散歩に出かけた時には挨拶を交わしている。	町内会に加入し回覧板が回ってくる。事業所行事「夏祭り」を新聞のチラシで配布し、地域住民の協力・参加も得られ、日頃から交流を深めている。買物や公園までの散歩の時、挨拶を交わしたり、近隣のコミュニティーセンターに出かけたり、保育園園児の来訪など世代を超えた交流もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	毎月開催される町内会や夏祭りなどで法人による相談の窓口を設けている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議が開催される1ヶ月前には民生委員、地域包括センター、ご家族様に連絡している。開催日を平日と休日に開催するよう変化をつけている。又ご家族様からの要望を聞き的確に答えられる様に心掛けている。	運営推進会議は事前に連絡を入れている。開催日を平日や行事と同一日にする事で、地域包括支援センターや家族の参加も増えてきた。お茶を飲みながらの開催は雰囲気が堅苦しくなく、意見が出やすくなった。	運営推進会議への地域住民の参加が少ないようである。地域の民生委員、交流している保育園園長にも声掛けをして、地域住民の意見を事業所サービス向上に活用する事を期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市町担当者とは出来るだけ連携が保てる様に 電話、又は出向いて関係性を深めている。	市の福祉課担当者に不明な点など、電話や出向いて質疑や確認を行うなど、協力関係が築けるよう努めている。又、運営推進会議参加の地域包括支援センターの職員に家族に分かりやすく介護保険制度についての説明を行って頂いた事例がある。	

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関などの扉は防犯上の理由からも電子ロックを使用しているが、ご利用者個人に対する身体拘束は行っていない。</p>	<p>身体拘束防止委員会を設置し、毎月職員ミーティングで身体拘束について協議し、研修を行い知識を深め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。スピーチロックも事例をあげ言葉での拘束のないよう、職員間で話し合い共有、理解を深めている。玄関は防犯上を考慮し、電子ロックとし、家族に説明し了解を得ている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>月に一度のミーティングで何か虐待かどこまでを虐待と朝礼時に内容説明し職員間で共有している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在グループホームにて2名様が成年後見制度を用いている。 運営推進会議に参加して頂き成年後見制度について学ばせて頂いている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には約款の内容を説明し質問に答えている。重度化した場合の対応やリスクについても説明し同意書も頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご利用者様、ご家族様の意見、要望は運営推進会議、又ご家族様来訪時にご意見頂いたり、ご意見箱も設置しており常に対応出来る様にしている。</p>	<p>家族の来訪時など意見、要望を伺っている中で「歩いてほしい」などがある。又、運営推進会議での家族の意見に耳を傾け、要望・意見を反映している。日頃から職員が笑顔で接する事で利用者の笑顔が見られ、日々の様子を知って頂く事で、家族の安心に繋がるよう尽力されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に一度のミーティング時に出る意見だけでなく、随時職員から出た内容も職員間で意見交換し、議事録に書きまとめて共有している。</p>	<p>管理者と定期的な面談や随時の面接等で職員の意見・要望を聞いている。職員の得意とする分野を活かし反映に繋げている。その一つにレク担当で、習字・歌等得意とする分野を活かした取り組みにより。利用者の中にはトイレに行くのを忘れる位熱心になられ、トイレの回数も減った事例もある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>定期的に職場環境や条件についての希望を聞く場を設けている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内外の研修が月に一回以上開催されており率先して参加される職員が増えていた。又、研修内容を報告し職員間で共有し、介護業務に生かせる様に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>社外での研修で情報交換したり、他事業所、病院等の訪問もある。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ご本人様、ご家族様が不安、要望等が出た場合、いつでも耳を傾けられる様な雰囲気と関係作りに努めていく。</p>		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様との面談時に要望、質問等があった際は納得いくまで説明させて頂き、ご家族様と施設間の信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	集めた情報を基にご家族様、ケアマネージャー、職員と共にご本人様にとって必要な支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	自立支援を念頭に置き、ご利用者様と職員のくくりを出来るだけ作らず、一緒に行動して一緒に笑い合える関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様にも積極的に関わりを持って頂ける様に、行事やイベントがある時は事前に連絡している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人様が入所前より利用されておられた美容院へ家族様と行かれたり、月命日の墓参りに行かれたりと馴染みの人、場所に出掛けたり会ったりされている。それらの情報は常に職員間で共有している。	利用者の歩んで来られた人生をしっかり把握し、馴染みの関係を大切にしてい、途切れる事のないよう努めている。家族の協力を得ながら美容院、お墓参りに行かれたり、友人の面会もあり、手紙の交換を再開された利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日中は出来るだけデイルームで過ごして頂き、職員を交えて昔の話をしたり、歌を歌ったりとご利用者様同士が関わりを持ち、笑って過ごされる様に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他施設へ行かれたご利用者様の面会に行ったり、電話で近況を聞いたりと退所後もご家族様の相談事には出来る限り応えている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様の思いや希望は出来る限り意向に添う様に努めている。職員間で共有し、又ご家族様にも伝え統一していける様に努める。	利用者ごとの担当制とする事で、生活歴が聴き取りやすくなり、思いを話される方が多くなった。利用者の思いは毎月ミーティングで職員全員が共有し、思いが実現出来るよう取り組み、又、ケアプランに取り入れて目標として設定する事もある。把握困難な場合は家族に聴いたり、会話の中から表情、笑顔を感じ取り把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居以前のアセスメントをしっかり把握して対応している。出来るだけ環境を変えない様、馴染みの家具・食器・洋服を身近に置いてもらっている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員一人一人が日々変化に気付ける様、目配り気配りし、その都度記録に残して職員間で共有している。		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアカンファレンスの際は、看護師と担当職員、ケアマネジャー、管理者同席の上ご家族様、ご本人様の意向を聞きながら支援している。又、困難な時は来訪時や電話にて意向を伺っている。</p>	<p>利用者ごとに担当者を決め、アセスメントを行い、モニタリングを行う。ケアマネジャーがチェックし、本人、家族の意見・要望を考慮し、関係職員でケアカンファレンスを開催し、見直しを行い、ケアマネジャーが現状に即した介護計画書を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別に日々の様子、変化等を細目に記録している。主に介護計画の見直しに活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>固定観念にとらわれず、その時々生まれるニーズに対応出来る様、常に柔軟な支援を心掛けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近隣の保育園児との交流や近所への散歩、買い物に出掛けている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人様、ご家族様の希望にてかかりつけ医に受診される事が、又ご家族様が病院に同行困難時は、看護師や職員が同行している。</p>	<p>利用者・家族の要望でかかりつけ医を決めているが眼科などは以前からのかかりつけ医を希望される利用者もいる。事業所の協力医（内科）により、24時間柔軟な対応が可能である。看護師の毎日の健康チェックもあり、家族も安心して医療が受けられる体制が整っている。歯科医の往診も2週間に1回ある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の体調の変化や異常時には、看護師、医師に報告し、速やかに対応出来る様に支援している。ご家族様にもその都度連絡している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院された場合は、状態の報告を速やかに行い、ご家族様と病院関係者と相談し、今後の方針を決める様にしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居契約時には契約と同時に、重度化した場合についても説明後サインを頂いている。管理者よりご家族様に事業所として出来る事を十分に説明し方針を決めている。	入居の際、「重度化した時の指針」を説明サインをもらっている。重度化した際、医師から利用者の状況を家族に説明し、事業所で出来る事と出来ない事を説明して今後の方針を協議している。家族の要望を確認し、今後の方針に沿って、職員間で共有し、事業所で出来る最善の支援をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員全員が対応出来る様にマニュアル化し、年に何度か事故発生時の備えを再度確認している。職員がいつでも見られる様にファイルに綴っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年二回の防火訓練は実施している。防火管理者と職員立ち合いにて、消防署より説明、指導を受けている。町内会では火災時、地域住民の協力を得られる様に声掛けしている。	年2回、利用者参加の防災訓練を行っている。消防署署員による実地訓練や研修にも参加している。町内会に出る事で町内会での協力体制の確認を得ている。備蓄品（ドライ食品・缶詰・水など）1年に1回取り換える。取り換えた際、実際食してみたりしている。	

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様の自尊心や羞恥心に配慮し、人生の先輩であり、常に尊厳を持って接する様に心掛けています。月一回のミーティング時は必ず議題に上げている。	一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーを損なう事のないような言葉掛けを心掛けている。例えば、相手の目線で話をする。相手の意見を聴く言葉かけ、笑顔で話をするなどに関して、職員同士が話し合える場を設けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様の意思を尊重し無理強いや強制を行わない様心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務よりご利用者様優先と考え、一人一人がご自身のペースで生活して頂ける様に、出来るだけ希望に添える様支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時には可能な限りご自身で整容して頂く様に声掛けしている。毎月美容師にて散髪が行われている。外出、入浴時には職員と一緒にご本人様のお好きな洋服を選んで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	朝食のみだが、和食、洋食好みでお出ししている。ご家族様が持参されたり、時には出前を注文したりと食事を楽しんで頂いている。	管理栄養士が作成した献立による配食サービスを提供。管理者は利用者の要望を聞き、試食する事で「配食会議」で意見を述べ、毎週土曜日には寿司、カレー、お好み焼き等提供するようになった。誕生日ケーキやおやつを利用者と一緒に作る事もある。家族と一緒に外食を楽しむ利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	ご利用者様一人一人に合った食事形態にて提供している。食事量、水分量はすべて記録に残し、水分量が少ない時は声掛けをしてお好きな飲み物を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアの声掛けと十分でないご利用者様には介助を行っている。一週間に一度歯科受診があり口腔内の異常、気づきがあれば歯科に報告している。夕食後義歯のご利用者様は、入歯洗浄剤につけて、朝装着して頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	毎食の前後、排泄の声掛けを行い、介助を行っている。又、訴えのある時は誘導を行っている。その都度記録に残し、排泄パターンを職員間で共有している。	排泄を記録し、排泄パターンを共有する事で、誘導時、トイレまで歩いてもらう、手引き歩行など、トイレで便座に座って排泄してもらえよう支援をしている。布パンツの方もおられ、段階的に使用パンツを考えている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘予防として、毎食時の水分はしっかりと摂取して頂いている。又、便コントロールを看護師の支持にて行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	最低週二回の入浴を提供している。一般浴が困難なご利用者様には、機械浴にて入浴して頂いている。入浴時には職員が同席し、ご利用者様に好みの洋服を選んで頂いている。	週2回入浴を行っている。特殊浴槽は「体の芯から温もる事が出来る」との利点もあり、一般入浴が困難な利用者が利用し、ほぼ半数の方が入浴されている。好みの洋服を自分で選ぶ取り組みをし、入浴拒否がなくなった事例がある。	

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>ご利用者様一人一人の入居前の 生活習慣を職員で共有し、無理 強いしない様に入眠の声掛けを 行っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>服薬時には職員と、ご本人様と 一緒に名前、日付けの確認をし ている。新たに処方された薬が ある場合は、服薬ノートに記入 し薬の内容をしっかりと確認し理 解する。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>入居前の生活歴をしっかりと理 解し理解した上で得意な事をして 頂き、日々を楽しく過ごして頂 く様支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。</p>	<p>天気の良い日は近くの公園に出 掛けて写真を撮ったり、コンビニ で買い物をしたりしている。そ の際、ご近所の方と挨拶を交わ している。ご利用者様とご家族 様とが外出し、食事される事も 時々ある。</p>	<p>近くの公園に出掛け四季折々の 変化を感じたり、近くのコンビニ に買い物に出かけたり、近隣の コミュニティセンターに外出す る事で楽しみに繋げている。家 族の協力を得ながら、外食など 外出する機会を設けている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>ご家族様よりお預かりしている お金でご利用者様が望まれる品 物を買ったり、近くのお店へ行 きご自分で買われたりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご利用者様の希望時には、ご家族様へお電話の取次ぎをしている。暑中見舞いや年賀状は、ご自分で書けるところまで書いて頂きご家族様へ送っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	毎日居室の清掃を行い、室内の照明室温にも配慮している。 朝はカーテンを開け、窓も開けてしっかり空気の入替えを行っている。	庭には桜の木が植えられ、時期には部屋に居ながらにして花見が出来る。週2回の清掃員の掃除、毎日の掃除、空気清浄器などにより、綺麗な環境が保たれている。壁面には利用者と職員の共同作品が飾られていて、和みの空間づくりがなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ダイニングにて新聞を読んだり、洋裁をされたり、ご利用者様数名で話しをされたりと、一人一人が過ごしやすい環境を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	出来るだけ入居前に使用されていた品を持って来て頂き、不穏なく居心地良く過ごされる様支援している。	出来るだけ自宅と同じ環境を考慮して、ベッドのみが設置され、馴染みの家具や使い慣れた持ち物が持ち込まれている。落ち着いた環境になるよう、利用者ごとにそれぞれ自分好みの居室になるよう工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	自立支援のため、最小限の介護を行うようにしている。事故、ケガ等が起こらない様に細心の注意、職員間で声掛けしながら、安心安全に過ごされる様に支援している。		

V アウトカム項目(花咲楼 1F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念「相手本位の心」に基づき、受容とを忘に基づき、ご利用者様には尊厳を持って受容と寛容の心で介護に従事している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	行事がある際は事前に町内会で報告し新聞にチラシを入れ参加を促している。地域の保育園児との交流も年2回は実施し近隣の方達とも、ご利用者様と散歩に出掛けた時には挨拶を交わしてる。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	毎月開催される町内会や夏祭りなどで法人による相談の窓口を設けてる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議が開催される1ヶ月前には民生委員、地域包括センター、ご家族様に連絡している。開催日を平日と休日に開催するよう変化をつけている。又ご家族様からの要望を聞き的確に答えられる様に心掛けている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市町担当者と出来るだけ連携が保てる様に 電話、又は出向いて関係性を深めている。		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関などの扉は防犯上の理由からも電子ロックを使用しているが、ご利用者個人に対する身体拘束は行っていない。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	月に一度のミーティングで何か虐待かどこまでを虐待と朝礼時に内容説明し職員間で共有している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在グループホームにて2名様が成年後見制度を用いている。 運営推進会議に参加して頂き成年後見制度について学ばせて頂いている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には約款の内容を説明し質問に答えている。重度化した場合の対応やリスクについても説明し同意書も頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様、ご家族様の意見、要望は運営推進会議、又ご家族様来訪時にご意見頂いたり、ご意見箱も設置しており常に対応出来る様にしている。		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に一度のミーティング時に出る意見だけでなく、随時職員から出た内容も職員間で意見交換し、議事録に書きまとめて共有している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>定期的に職場環境や条件についての希望を聞く場を設けている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内外の研修が月に一回以上開催されており率先して参加される職員が増えていた。又、研修内容を報告し職員間で共有し、介護業務に生かせる様に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>社外での研修で情報交換したり、他事業所、病院等の訪問もある。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ご本人様、ご家族様が不安、要望等が出た場合、いつでも耳を傾けられる様な雰囲気と関係作りに努めていく。</p>		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様との面談時に要望、質問等があった際は納得いくまで説明させて頂き、ご家族様と施設間の信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	集めた情報を基にご家族様、ケアマネージャー、職員と共にご本人様にとって必要な支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	自立支援を念頭に置き、ご利用者様と職員のくくりを出来るだけ作らず、一緒に行動して一緒に笑い合える関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様にも積極的に関わりを持って頂ける様に、行事やイベントがある時は事前に連絡している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人様が入所前より利用されておられた美容院へ家族様と行かれたり、月命日の墓参りに行かれたりと馴染みの人、場所に出掛けたり会ったりされている。それらの情報は常に職員間で共有している。		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日中は出来るだけデイルームで過ごして頂き、職員を交えて昔の話をしたり、歌を歌ったりとご利用者様同士が関わりを持ち、笑って過ごされる様に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他施設へ行かれたご利用者様の面会に行ったり、電話で近況を聞いたり退所後もご家族様の相談事には出来る限り応えている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様の思いや希望は出来る限り意向に添う様に努めている。職員間で共有し、又ご家族様にも伝え統一していける様に努める。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居以前のアセスメントをしっかり把握して対応している。出来るだけ環境を変えない様、馴染みの家具・食器・洋服を身近に置いてもらってる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員一人一人が日々変化に気付ける様、目配り気配りし、その都度記録に残して職員間で共有する。		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアカンファレンスの際は、看護師と担当職員、ケアマネージャー、管理者同席の上ご家族様、ご本人様の意向を聞きながら支援している。又、困難な時は来訪時や電話にて意向を伺っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別に日々の様子、変化等を細目に記録している。主に介護計画の見直しに活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>固定観念にとらわれず、その時々生まれるニーズに対応出来る様、常に柔軟な支援を心掛けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近隣の保育園児との交流や近所への散歩、買い物に出掛けている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人様、ご家族様の希望にてかかりつけ医に受診される事があり、又ご家族様が病院に同行困難時は、看護師や職員が同行している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日々の体調の変化や異常時には、看護師、医師に報告し、速やかに対応出来る様に支援している。ご家族様にもその都度連絡している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご利用者様が入院された場合は、状態の報告を速やかに行い、ご家族様と病院関係者と相談し、今後の方針を決める様にしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居契約時には契約と同時に、重度化した場合についても説明後サインを頂いている。管理者よりご家族様に事業所として出来る事を十分に説明し方針を決めている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>職員全員が対応出来る様にマニュアル化し、年に何度か事故発生時の備えを再度確認している。職員がいつでも見られる様にファイルに綴っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年二回の防火訓練は実施している。防火管理者と職員立ち合いにて、消防署より説明、指導を受けている。町内会では火災時、地域住民の協力を得られる様に声掛けしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様の自尊心や羞恥心に配慮し、人生の先輩であり、常に尊敬を持って接する様に心掛けています。月一回のミーティング時は必ず議題に上げている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様の意思を尊重し無理強いや強制を行わない様心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務よりご利用者様優先と考え、一人一人がご自身のペースで生活して頂ける様に、出来るだけ希望に添える様支援していく。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時には可能な限りご自身で整容して頂く様に声掛けしている。毎月美容師にて散髪が行われている。外出、入浴時には職員と一緒にご本人様のお好きな洋服を選んで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	朝食のみだが、和食、洋食好みでお出ししている。ご家族様が持参されたり、時には出前を注文したりと食事を楽しんで頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>ご利用者様一人一人に合った食事形態にて提供している。食事量、水分量はすべて記録に残し、水分量が少ない時は声掛けをして好きな飲み物を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアの声掛けと十分でないご利用者様には介助を行っている。一週間に一度歯科受診があり口腔内の異常、気づきがあれば歯科に報告している。夕食後義歯のご利用者様は、入歯洗浄剤につけて、朝装着して頂いている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>毎食事の前後、排泄の声掛けを行い、介助を行っている。又、訴えのある時は誘導を行っている。その都度記録に残し、排泄パターンを職員間で共有している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防として、毎食時の水分はしっかりと摂取して頂いている。又、便コントロールを看護師の支持にて行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>最低週二回の入浴を提供している。一般浴が困難なご利用者様には、機械浴にて入浴して頂いている。入浴時には職員が同席し、ご利用者様に好みの洋服を選んで頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>ご利用者様一人一人の入居前の 生活習慣を職員で共有し、無理 強いしない様に入眠の声掛けを 行っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>服薬時には職員と、ご本人様と 一緒に名前、日付けの確認をし ている。新たに処方された薬が ある場合は、服薬ノートに記入 し薬の内容をしっかりと確認し理 解する。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>入居前の生活歴をしっかりと理 解し理解した上で得意な事をして 頂き、日々を楽しく過ごして頂 く様支援します。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。</p>	<p>天気の良い日は近くの公園に出 掛けて写真を撮ったり、コンビニ で買い物したりしている。その 際、ご近所の方と挨拶を交わし ている。ご利用者様とご家族様 とが外出し、食事される事も時 々ある。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひ とりの希望や力に応じて、お金 を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>ご家族様よりお預かりしている お金でご利用者様が望まれる品 物を買ったり、近くのお店へ行 きご自分で買われたりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご利用者様の希望時には、ご家族様へお電話の取次ぎをしている。暑中見舞いや年賀状は、ご自分で書けるところまで書いて頂きご家族様へ送っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>毎日居室の清掃を行い、室内の照明室温にも配慮している。朝はカーテンを開け、窓も開けてしっかり空気の入れ替えを行っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ダイルूमにて新聞を読んだり、洋裁をされたり、ご利用者様数名で話しをされたりと、一人一人が過ごしやすい環境を提供している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>出来るだけ入居前に使用されていた品を持って来て頂き、不穏なく居心地良く過ごされる様支援している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>自立支援のため、最小限の介護を行うようにしている。事故、ケガ等が起こらない様に細心の注意、職員間で声掛けしながら、安心安全に過ごされる様に支援していく。</p>		

V アウトカム項目(花咲楼 2F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム花咲楼

作成日 令和元年 11月4日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	曜日を変えたりして運営推進会議を開催しているが、地域の方達の参加が少ない。	地域住民の一人でも多くの方達の参加があり、地域住民の意見を今後の事業所サービスに取り入れていきたい。	年2回施設に来て頂いている地域の保育園の園長様、月に一度参加している町内会の会長様と地域住民の理解を得る様にお声掛けをし、参加を促す。	6ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。